

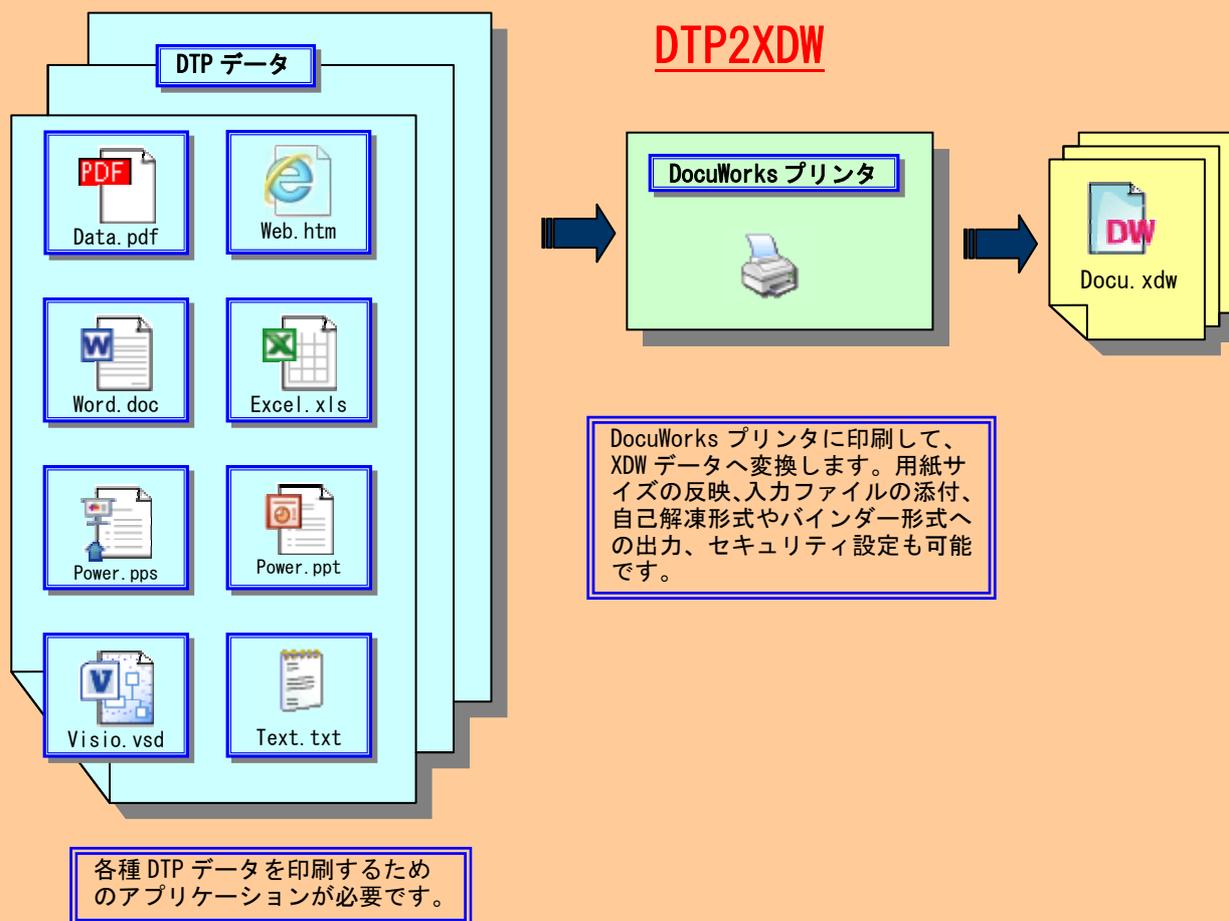
# DTP製品と一体型データ変換ソフト



Kernel Computer System  
カーネルコンピュータシステム株式会社

本社：パッケージ販売部  
〒221-0056  
横浜市神奈川区金港町 6-3 横浜金港町ビル  
TEL：045-442-0500 FAX：045-442-0501  
URL：<http://www.kernelcomputer.co.jp>

DTP 各種のデータを DocuWorks プリンタに印刷することで、XDW データに変換します。  
DTP2XDW の PDF 印刷機能を利用した場合にのみ、文字情報を検索可能なデータとして PDF ファイルから XDW ファイルへ変換可能です。  
DocuWorks ライセンスが必要です。PDF 変換は Acrobat ライセンス不要です。



## ◆特長

- ・ DTP2XDW の PDF 印刷機能を利用した場合にのみ、文字情報を検索可能なデータとして PDF ファイルから XDW ファイルへ変換可能です。
- ・ Windows プリンタドライバ(DocuWorks Printer)を経由することによって高品質な変換結果を得ることができます。
- ・ コマンドライン形式(DOS 操作)、GUI 形式(画面操作)の双方をサポートしたアプリケーションになっています。一つの製品で両形式使用することができます。システムへの組み込みや、標準機能としてバッチファイルを利用したフォルダ単位の一括変換が可能です。
- ・ オプション製品と組み合わせることによって、指定フォルダにデータを送るだけで、あらかじめ設定された DTP から各種サポートフォーマットへ自動的に変換を行う自動監視付き変換等が可能です。
- ・ PDF データの用紙サイズの反映、セキュリティ解除が可能です。
- ・ PDF データの変換で Adobe Acrobat ライセンスが不要です。

## ◆概要

各種 DTP データ (Office、PDF、Visio、HTML 等) を DocuWorks (XDW) データへ変換します。

### 【入力対応 DTP データ】

DTP データ	ファイル種類 (拡張子)
Microsoft Office Word データ	doc, rtf, dot, txt, docx, dotx, docm, dotm
Microsoft Office Excel データ	xls, xlw, xjs, csv, xlt, xlsx, xltx, xlsm, xltm
Microsoft Office PowerPoint データ	ppt, pps, pot, pptx, potx, pptm, potm, ppsx, ppsm
Microsoft Office Visio データ	vsd, vst, vss, vsdx, vsdm
PDF データ	pdf
HTML データ・XML データ	htm, html, xml

※上記以外のファイルについては正式に対応していません。

### 【DTP データアプリケーション】

アプリケーション	対応バージョン
Microsoft Office Word	2000/XP/2003/2007/2010/2013/2016
Microsoft Office Excel	2000/XP/2003/2007/2010/2013/2016
Microsoft Office PowerPoint	2000/XP/2003/2007/2010/2013/2016
Microsoft Office Visio	2000/2002/2003/2007/2010/2013/2016
変換ツール/任意の PDF ビューア	
Internet Explorer	7/8/9/10/11

※変換に使用するアプリケーションは、変換対象ファイルを開くことが可能であり、印刷が可能であるバージョンがインストールされている必要があります。

※64 ビット版の Microsoft Office、Microsoft Visio、Microsoft Project を利用した変換はサポートしていません。64 ビット版 OS であっても 32 ビット版アプリケーションをご利用ください。

## ◆注意事項

- ・アプリケーションの印刷機能を利用してファイルを作成するため、変換するファイルのアプリケーションが必要になります。
- ・印刷に使用するアプリケーションで正常に印刷できる必要があります。アプリケーションで対応していないバージョンのデータ等は正常に印刷できない場合があります。
- ・出力に関するデータ処理はすべてアプリケーションに依存します。Microsoft Office でマクロ命令を利用して画面にダイアログメッセージを出力して停止するような場合や、セキュリティ機能によりパスワードを求めるダイアログメッセージを出力して停止するようなデータ等は、変換ソフトもその時点で停止するので注意していただく必要があります。

## ◆製品構成

製品名	概要	定価 (税抜き)
DTP2XDW	各種 DTP データを DocuWorks Printer を利用して DocuWorks ファイル (XDW) へ変換します。FujiXerox DocuWorks (有償) が必要になります。	35 万円

※DTP2XDW にはモノクロ版、カラー版はありません。

※FujiXerox DocuWorks のライセンス規約に準拠する必要があります。

## ◆動作環境

対応 OS :

- ・ Windows XP
- ・ Windows Server 2003
- ・ Windows Vista
- ・ Windows Server 2008
- ・ Windows Server 2008 R2
- ・ Windows 7
- ・ Windows 8
- ・ Windows 8.1
- ・ Windows Server 2012
- ・ Windows Server 2012 R2
- ・ Windows 10
- ・ Windows Server 2016

※動作には、Fuji Xerox 社製品の DocuWorks Version 6~9 (8.0.3 を除く) が必要です。

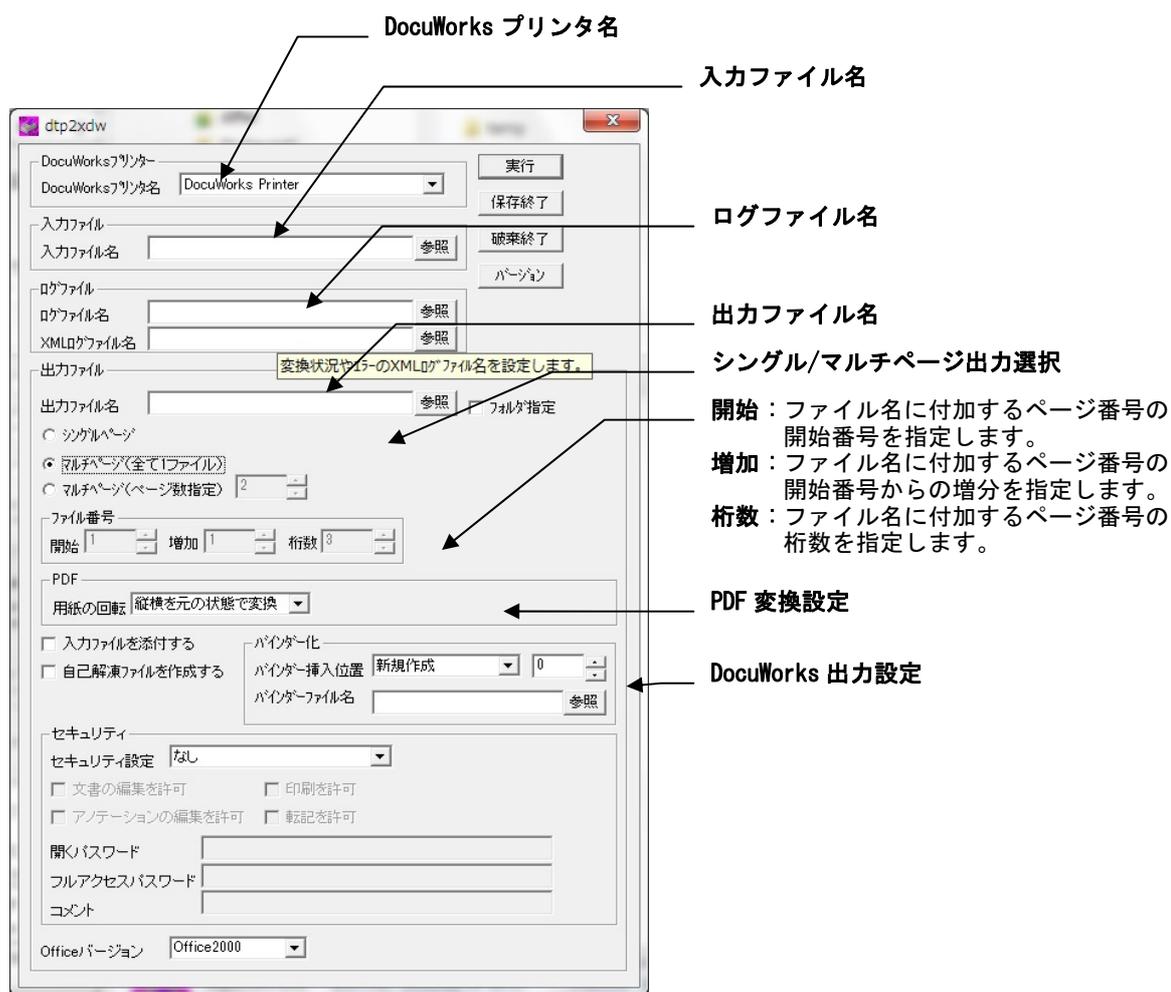
※文書ファイルの変換を行うアプリケーション (MS-OFFICE, PDF ビューア等) の動作環境に依存します。

## ◆必須コンポーネント

DTP2XDW をご利用いただく際に必要となるコンポーネントは以下のものです。(※)の付いたコンポーネントは一部の機能で使用します。

- ・ .Net Framework 4 以降 (※)

## GUI 操作基本画面



### ◆GUI からの操作

- ・プログラムを起動すると上記 GUI が表示されます。変換に必要な情報を各項目に設定していきます。設定後、実行 (OK ボタンを押す) すると変換が開始されます。処理が終了すると、設定内容に従った変換結果 (ファイル) が出力されます。
- ・各項目の情報は保存され次回の変換にそのまま使用することができます。

## コマンドライン基本操作

基本操作は、[プログラム]→[アクセサリ]→[コマンドプロンプト]より、変換する入力ファイル名、出力ファイル名、変換に関する各種設定情報を入力して実行し、変換を行います。

### >実行ファイル名 入力ファイル名 -0出力ファイル名 -各オプション

<基本形の例> 入力ファイル(pdfdata.pdf)を変換して、指定した出力ファイル(raster.xdw)に出力。

実行フォルダに属性ファイル(dtp\_xdw.atr)が存在することを確認し、以下のように入力します。

```
C:¥>DTP2XDW pdfdata.pdf -0raster.xdw -Udtp_xdw.atr -LOGtest.log
C:¥>
```

(各パラメータについて)

DTP2XDW	: 実行ファイル名。
pdfdata.pdf	: 変換元の入力ファイル名(入力に対応している DTP データ)。 この例では、PDF データファイル。
-0	: 出力ファイル名を指定するオプション。
raster.xdw	: 出力ファイル名(DocuWorks)。
-U	: 変換属性ファイル名(初期設定:dtp_xdw.atr)を指定するオプション。
dtp_xdw.atr	: 変換属性ファイル名。
-LOG	: ログファイル名(初期設定:err.log)を指定するオプション。
test.log	: ログファイル名。

※インストールパスが“c:¥Program Files¥dtp2xdw”の場合、<基本形の例>を実行されると、それぞれ指定されたファイルは、プログラム内部で以下のフルパスに置き換えられて変換を実行します。

入力ファイル名	: pdfdata.pdf	→	“c:¥Program Files¥dtp2xdw¥pdfdata.pdf”
出力ファイル名	: raster.xdw	→	“c:¥Program Files¥dtp2xdw¥raster.xdw”
属性ファイル名	: dtp_xdw.atr	→	“c:¥Program Files¥dtp2xdw¥dtp_xdw.atr”
ログファイル名	: test.log	→	“c:¥Program Files¥dtp2xdw¥test.log”

※ ヘルプは、オプション「-HELP」を指定してください。

### 【DTP2XDW のコマンドラインからの操作における標準仕様】

- ・ 変換に関する各種設定(出力フォーマット、シングル/マルチ化、解像度など)は変換属性ファイルで行います。変換属性ファイルとはテキスト形式のファイルです。そのテキスト形式のファイルに変換に関する各種設定情報を弊社で決められた項目に従って記述します。変換属性ファイル(テキスト形式のファイル)の編集の代わりに GUI(画面)から設定を行うこともできます。
- ・ 使用するプログラムについてはカレントフォルダ(現在作業中のフォルダ)に対して相対/絶対パスで指定することができます。プログラムをインストールしたフォルダで作業する場合、パス名を省略できます。変換元ファイル(入力ファイル)、出力ファイル、変換属性ファイル、ログファイルについても同様の扱いとなります。
- ・ 相対/絶対パスを指定する場合においてパス名に空白(スペース)がある場合には、“” (ダブルコーテーション)を使用してください。
- ・ 「-0」は出力ファイル名を指定するオプションです。マイナス記号とアルファベットの「オー」です。大文字でも小文字でもかまいませんが、全角文字は使えません。また、「-0」とパラメータ(変換後のファイル名)の間には空白を入れないようにします。その他のオプションパラメータについても同様に扱います。
- ・ 変換前のファイル名と変換後のファイル名に同じ名前を指定することはできません。
- ・ エラー情報や変換状況をカレントフォルダにログファイル名(err.log)で自動的に出力します。

## 操 作 例

例 1: 絶対パスを使用して、任意の変換元ファイル“c:¥test¥infile¥pdfdata.pdf”を出力ファイル“c:¥test¥outfile¥raster.xdw”に変換して出力。

```
C:¥>DTP2XDW "c:¥test¥infile¥pdfdata.pdf" -O"c:¥test¥outfile¥raster.xdw"  
C:¥>
```

例 2: 任意の変換属性ファイルを作成し、入力ファイル(pdfdata.pdf)を出力ファイル(raster.xdw)に変換し、任意のログファイルにエラー情報や変換状況を出力。

```
C:¥>DTP2XDW pdfdata.pdf -Oraster.xdw -Udtp_xdw_test.atr -LOG"c:¥log¥abcd.log"  
C:¥>
```

(各パラメータについて)

    dtp\_xdw\_test.atr : 任意の変換属性ファイル名。

    “c:¥log¥abcd.log” : ログファイル名(絶対パスを指定)。

※ 任意の変換属性ファイルは、初期設定の変換属性ファイル(dtp\_xdw.atr)をコピーしてファイル名を変更したファイルや変換属性ファイルに使用されているパラメータを含む内容のファイルです。

例 3: アプリケーションのバージョン情報を出力。

```
C:¥>DTP2XDW -QV -LOGver.log  
C:¥>
```

(各パラメータについて)

    -QV : 実行ファイル名とバージョン情報を表示するオプション。

    ver.log : ログファイル名。

※ 「-QV」と「-LOG」を同時に指定した場合は、指定したログファイルにアプリケーションのバージョン情報を書き出します。

例 4: PDF ファイルの情報をファイル出力。

```
C:¥>DTP2XDW data.pdf -QS  
C:¥>
```

(各パラメータについて)

    -QS : PDF 情報出力ファイル名(初期設定:pdf\_inf.txt)を指定するオプション。

※ PDF 情報出力ファイルは、入力 PDF ファイル(例では data.pdf)に関する情報を書き出して出力するファイルです。

※ カレントフォルダに、PDF 情報出力ファイルが作成されます。

例 5: PDF ファイルの情報を任意のファイルへ出力。

```
C:¥>DTP2XDW data.pdf -QSjouhou.txt  
C:¥>
```

(各パラメータについて)

    jouhou.txt : 任意の PDF 情報出力ファイル名。

※ PDF 情報出力ファイル名の指定が省略された場合は、初期設定のファイル名(pdf\_inf.txt)に情報を書き出します。

例 6: 入力ファイル(pdfdata.pdf)をバインダーファイル(raster.xbd)に新規に変換して出力。

```
C:¥>DTP2XDW pdfdata.pdf -Oraster.xdw -Oraster.xbd -BINDER0
C:¥>
```

(各パラメータについて)

-BINDER : バインダー処理モードを指定するオプション。  
raster.xbd : バインダーファイル名。

※ 出力ファイル名は必須ですので、出力ファイル名とバインダーファイル名の両方を指定して、入力ファイル(pdfdata.pdf)を(raster.xdw)と(raster.xbd)に変換します。

例 7: 入力ファイル(pdfdata.pdf)を既存のバインダーファイル(raster.xbd)の最後尾に追加モードで変換して出力。

```
C:¥>DTP2XDW pdfdata.pdf -Oraster.xdw -Oraster.xbd -BINDER-1
C:¥>
```

例 8: バッチファイルからの実行(フォルダ単位の拡張子による一括変換)。

バッチファイルで記述された内容の処理を実行します。  
複数のファイルやフォルダ内のすべてのファイルを一括で変換する場合に使用します。

任意の名称(test.txt)で以下のようにバッチファイル(テキスト形式)を作成します。

・バッチファイルの内容

```
*.pdf -0*.xdw
*.doc -0*.xdw
```

・コマンドライン入力と画面表示

```
C:¥>DTP2XDW -BATChtest.txt -LOGkekka.log
C:¥>
```

(各パラメータについて)

-BATCh : フォルダ単位の一括変換を行うために使用するオプション。  
test.txt : バッチファイル名。

※ 「-BATCh」で指定された任意のバッチファイル名(test.txt)の内容に従い処理を行います。この場合コマンドラインに記入した「-LOGkekka.log」は無視され、初期設定の(err.log)がカレントフォルダに作成されます。

ログファイル名を任意に指定する場合はバッチファイル(test.txt)に以下のように記入してください。

```
*.pdf -0*.xdw -LOGlog1.log
*.doc -0*.xdw -LOGlog2.log
```

同様にその他ファイル名等のパラメータもバッチファイル指定時には無視されますので、バッチファイル(test.txt)に記入してください。

## 変 換 機 能

主だった変換機能として以下の設定を行うことができます。これらの変換機能は GUI(画面)または変換属性ファイル(テキスト形式)、オプションパラメータから指定します。

- ・ DocuWorks プリンタを利用した XDW ファイルへの変換
- ・ シングルページ/マルチページ出力指定
- ・ PDF 入力処理時、用紙サイズの自動認識指定  
自動認識をする場合、入力データの用紙サイズを自動的に判別して出力データへ反映します。  
自動認識をしない場合、設定されている用紙サイズで出力します。
- ・ PDF 入力処理時、セキュリティの解除機能
- ・ ログファイルの出力
- ・ ページ分割の指定
- ・ バッチ処理(フォルダ単位の拡張子による一括変換)

## 制 限 事 項

### DTP2XDW の制限事項

- ・ 管理者権限を持たないユーザーで本製品を使用する可能性がある場合はインストーラに設定されているフォルダにインストールしてください。
- ・ 本製品は多重起動(本製品を同時に複数実行)することはできません。
- ・ 本製品はログインされた状態で使用してください。ログオフ状態では正常に動作しません。ロック状態であれば動作します。
- ・ 本製品はサービス上で実行することはできません。また、サービス上で実行しているアプリケーションからの呼び出しにも未対応です。
- ・ 本製品は処理時に“通常使うプリンタ”を変更する場合があります。本製品使用時には印刷処理を行わないようにしてください。
- ・ SJIS で表現できないファイル名には対応しておりません。
- ・ インストールマシン以外のネットワーク上のマシンから、リモート呼び出しによる変換はできません。
- ・ DTP2XDW を起動するときは、変換元となるファイルのアプリケーションを終了させてください。Word 文書を変換するときは Microsoft Word は終了させておいてください。
- ・ DTP2XDW が異常終了した場合には、アプリケーションがタスク上に残っている場合はタスクマネージャ等で終了させてください。
- ・ PDF ファイルの元の用紙サイズを反映する場合、DocuWorks のバージョンが 6 以前の場合は、A3 より大きい用紙サイズは DocuWorks プリンタが未対応のため A3 用紙として出力します。DocuWorks 7 以降の場合は、最大 2A0 までの出力が可能です。
- ・ 変換する文書ファイルにマクロ機能やパスワードの入力等で何らかのダイアログが表示される場合には、変換処理が止まる場合があります。ダイアログを手動で対処するかマクロを削除して再起動してください。
- ・ PDF ファイルのセキュリティ設定を解除するにはパスワードが必要です。
- ・ 入力ファイルの添付機能は、シングルページまたはマルチページ(ページ指定)出力の場合は最初のページのみファイルを添付します。
- ・ Windows の OS を長時間(数ヶ月単位)再起動せずに使用すると環境により Windows の動作が不安定になる場合があります。これは、弊社アプリケーションのみの問題ではなく、Windows を含む、利用されるすべてのソフト・ドライバの複合要因であり、このような現象が発生した場合、原因の特定および回避はすべてのアプリケーションが関係するため、対応が不可能です。長期間連続運用を行う場合、上記の問題が発生することがありますので、定期的に Windows の再起動を奨励致します。
- ・ 本アプリケーション動作中に LOG ファイル等の関連ファイルへのアクセス(参照、コピー等)は行わないでください。
- ・ 既存の XDW ファイルに、マルチページとしてページを追加して変換を行う場合、既存の XDW にバインダーや保護された文書、署名された文書が含まれる場合、上書きで出力します。
- ・ PDF から XDW 変換において、指定により文字列を文字列として DW プリンタに出力しますが、DW プリンタの仕様により異なる文字に変換されたり、画像として変換されたりする場合があります。
- ・ DocuWorks9 では自己解凍文書の作成機能が利用できません。